

ティーチング・ポートフォリオ



大学名 東京都市大学
所 属 情報工学部 情報科学科
名 前 星 義克
作成日 2021年3月19日

1. 責務

私は、情報工学部情報科学科に所属し、教育活動をおこなっている。主な科目として、「現代制御理論 (3年・選択)」「情報科学実験 (2年・必修)」を担当し、次年度からは「プログラミング(1) (1年・必修)」を担当することとなっている。また、研究室において「事例研究 (3年・必修)」「卒業研究 (4年・必修)」を担当し、大学院の科目では「制御理論特論」「情報処理応用及び同演習」を担当している。その他、教務委員会や FD 推進センターのメンバーを務め、学科内では教育改善委員やアカデミック・アドバイザーを担当している。

2. 理念

私が最も大切にしている教育の理念は「社会に貢献できる人材の育成」である。主に担当している制御の科目や、指導している卒業研究の内容が、将来の業務に直接的に役に立つということは多くはないと思われる。しかし、それらを教授する過程で「論理的な思考力」「自主性」「コミュニケーション能力」を身に付けさせることを重視している。これらの能力は、社会のどのような分野においても、活躍・貢献するうえで必要となる能力であると考えているからである。これらの能力を大学生活において身に付けて、社会に貢献し、人の役に立つことを喜びと感じられるような人材に成長してほしい。

3. 方法

- 「現代制御理論」では、一方的な講義だけでなく、演習の時間を多く取り入れ、自らの頭で思考して理解を促進するようにしている。また、「情報科学実験」では、実験後にレポート提出だけでなく面接も行い、自分の言葉で説明できる能力を育成するようにしている。その他、「卒業研究」では、取り組むテーマを自ら設定させることで、自主的に課題を発見し解決する能力の育成を図っている。
- 「現代制御理論」は、理論的な内容で難解になりがちのため、身近な物理的な例を多く取り入れることで、直感的な概念形成を図るようにしている。また、演習中は机間巡視をして、理解が不十分な学生のフォローを行うよう努めるとともに、学生同士のディスカッション・教え合いを推奨し、理解力の向上を図っている。「事例研究」や「卒業研究」で行うゼミでも、学生同士の議論が活発になるよう工夫をしている。
- 「現代制御理論」では、参考書を指定しているが、基本的にはスライドによる独自作成教材を用いて授業を進行し、資料については WebClass で配布して予習・復習に活用できるようにしている。また、「情報科学実験」のテキストも、独自作成教材を使用している。
- 2019～2020 年度にかけて教務委員を担当し、2021 年度からの新カリキュラムの作成等を担当した。また、情報科学科では、留年生のアカデミック・アドバイザーを教務委員が担当することとなっている。学科での学修にうまく適応できず、留年してしまう学生の履修相談等を行って、進級・卒業に向けたサポートを行っている。そのほか、FD 推進センターのメンバーとして、全学的な FD

活動の企画・運営等に携わっている。

- **FD 推進センターのメンバーとして、学内の FD 活動の企画・運営に携わっていることから、学内で行われる FD 活動には積極的に参加するように努めるとともに、FD 活動の企画・運営のための情報収集は日頃より意識して行うようにしている。**

4. 成果

- 例年、学生からの授業評価アンケートでは、比較的高い評価を得ている。また、アンケート記入の際には、できるだけ自由記述欄への記載を学生にお願いして、いい点・悪い点についての具体的な意見を得ることで、次年度以降の教育改善につなげるようにしている。前期前半の「現代制御理論」では、「分かりやすい授業だった」との評価を複数の学生から得ることができた。
- 今年度は、遠隔授業で試験が実施できなかったため、以前との単純比較はできないが、学生の評定については例年よりは向上している。
- 学生からの授業評価を、できるだけ自由記述で回答してもらうようにすることで、自身の授業の長所・短所を具体的に明確化し、次年度以降の授業改善につなげることができている。また、学内の FD 活動の企画・運営に長く携わっていることで、教育改善についての知識も身につけ、それを自身の教育活動に反映させることができている。

5. 目標

今年は、コロナ禍の影響で、多くの授業や研究室活動がオンラインでの対応となり、試行錯誤することの多い 1 年であった。コロナ禍が収束すれば、いずれ対面での授業の比率が増えていくことになると思うが、オンラインでの授業にも多くのメリットがあることが分かったため、従来通りの授業に戻すのではなく、両者の良いところをうまく取り入れ、教育効果をできるだけ高めるように努めていきたい。また、試験が行えない場合に、レポート等でいかに学生の身に着けた能力を正しく評価することができるのかについて、対応を改善していきたい。

【添付資料】

- 「現代制御理論」シラバス
- 「現代制御理論」講義資料
- 「情報科学実験」テキスト
- 授業評価アンケート結果